

## 令和元年7月の労働市場の動き

### (求人倍率)

- 大阪府の令和元年7月の有効求人倍率(季節調整値)は1.77倍となり、前月より0.03ポイントの低下となった。
- 新規求人倍率(季節調整値)は2.89倍となり、前月より0.18ポイントの上昇となった。

### (求人・求職の動き)

- 7月の新規求人数(季節調整値)は前月比1.8%増となり、有効求人数(同)は前月比0.4%減となった。
- 新規求職申込件数(季節調整値)は前月比4.3%減となり、有効求職者数(同)は前月比1.2%増となった。
- 7月の新規求人数(原数値)を前年同月と比較すると5.3%増となった。これを主要産業別にみると、建設業(前年同月比19.3%増)、製造業(同4.6%減)、情報通信業(同0.5%増)、運輸業、郵便業(同2.8%増)、卸売業、小売業(同7.9%増)、学術研究、専門・技術サービス業(同0.5%減)、宿泊業、飲食サービス業(同5.4%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同5.4%増)、教育、学習支援業(同38.5%増)、医療、福祉(同6.8%増)、サービス業(他に分類されないもの)(同4.2%増)となった。

